

豊臣機工株式会社

環境報告書【2023年度実績】

2024年



環境マネジメント

代表あいさつ
会社概要
環境方針
推進体制

環境データ報告

第五次環境取り組みプラン
本社工場
額田工場
桑名工場

環境活動・社会貢献活動

工場緑化・クリーンエネルギーの採用
環境教育訓練
社会貢献活動

環境マネジメント

ごあいさつ

当社の事業内容は、自動車ボデー関係を主体とした量産部品と旧型補給部品（フェンダー、ドアなど）の生産や、プレス金型の設計・製作や試作部品など多岐に渡って事業を展開しております。

自動車産業が大きく変革期を迎える中、国連にて採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に貢献することが重要と考えており、当社も「できること」「できそうなこと」から個々に行動を起こし、皆が豊かに暮らせる社会の実現に貢献していきます。

また、世界が目指すカーボンニュートラルに向けて当社としてもCO2排出量の削減が最重要課題と位置づけ、トップ主導で活動を進めております。

「環境」への取り組みは、ISO14001：2015に基づく環境マネジメントシステムを構築し、さらに第6次環境取り組みプラン（2021年～2025年）を掲げ、公害防止委員会、廃棄物低減委員会、CN推進会議、それぞれの委員会・会議を主体に、全員参加での環境保全活動を推進しております。



また当社は地域社会の一員であることを忘れることなく、環境保全活動を全社一丸で取組むと同時に、地域の皆さまとのコミュニケーションを大切に、今後も経営理念の「誠実」な企業活動を推進してまいります。

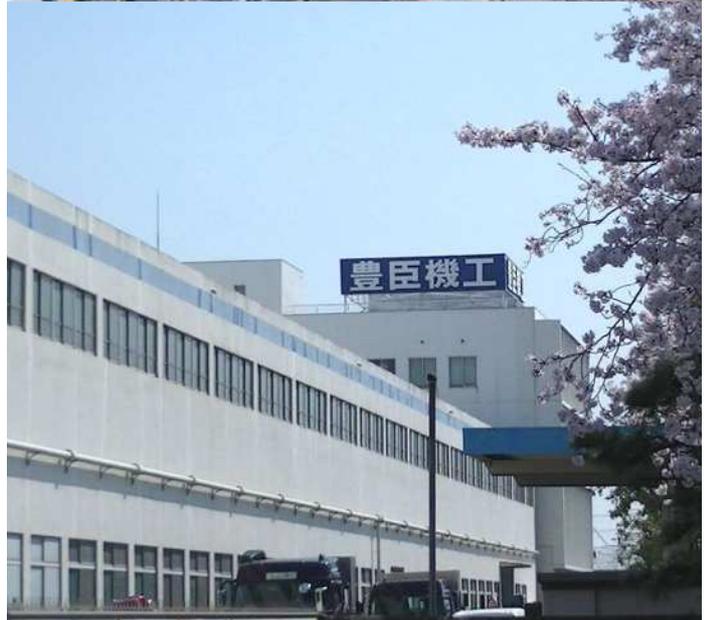
豊臣機工株式会社
代表取締役社長

伴 雅紀

環境マネジメント

会社概要

社名	豊臣機工株式会社
創立	1960年（昭和35年）9月
本社所在地	〒446-8558 愛知県安城市今本町東向山7番地
	TEL：（0566）97-9131
資本金	4億8千万円
国内工場	本社工場（安城市）・額田工場 いなべ部品工場・桑名工場
従業員数	1,784人（2024年4月1日現在）
事業内容	自動車ボデー部品の製造・販売
H P	http://www.toyotomi-kiko.co.jp/



環境保全活動スローガン

明日の地球を考える
みんなが主役の環境活動



環境マネジメント

当社では『環境方針』を定め、また環境保全スローガンを掲げて、環境保全活動の維持・継続的改善に取り組んでいます。

環境方針

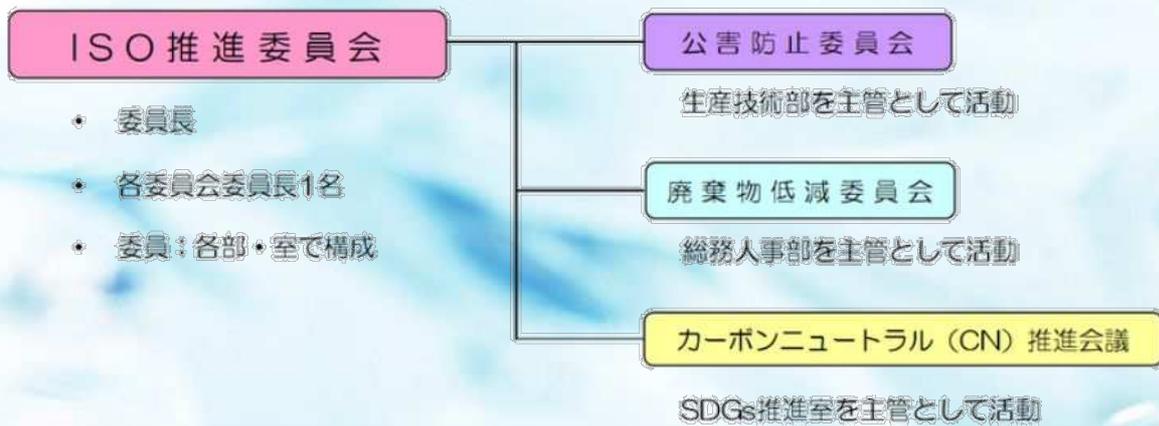
1. 国・地方公共団体等の環境に関する法規及びその他の要求事項を遵守し、汚染の予防に努めます。
2. 生産活動により環境へ及ぼす影響を予測・評価し、環境保全のための目的・目標を設定および達成するための活動を推進し、状況により目的、目標の見直しを実施します。
3. 会社が行う事業活動が、環境に影響を与える以下の項目について活動に取り組めます。
 - ① 地球温暖化防止のため、工場・オフィスの使用エネルギーの節減を推進します。
 - ② 資源の有効活用のため、排出物の削減と再資源化を推進します。
 - ③ 環境汚染の防止を図るため、化学物質等の適切な管理に努めます。
4. 地域社会との環境調和を図ると共に、環境方針の定期的な見直しを実施して継続的改善を行います。
5. 環境方針の実効をあげるため、計画的に教育、啓蒙活動を行い全従業員への周知徹底を図ります。

豊臣機工株式会社 代表取締役社長

伴 雅紀

環境マネジメント

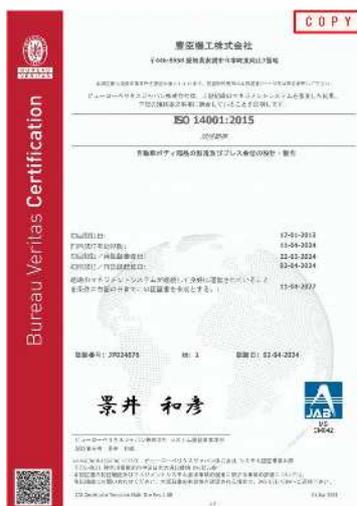
推進体制



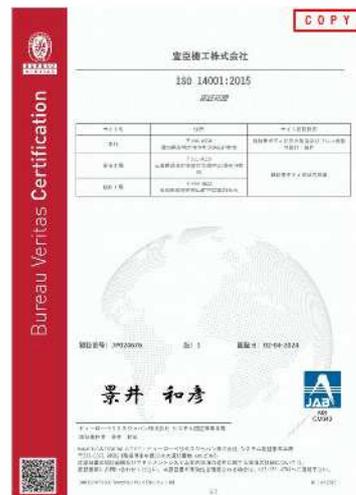
環境マネジメントシステムと国際規格への対応

- 1999年11月 環境マネジメントシステム構築の取り組み開始
- 2001年 5月 ISO14001国際規格の認証を取得
- 2004年～2016年 5月 三ヶ年毎に認証登録を更新
- 2018年 4月 認証登録を更新（2015年度版）
- 2021年 4月 認証登録を更新
- 2024年 4月 認証登録を更新

ISO14001認定証



【有効期限】
2027年4月



【認定工場】
本社工場
額田工場
桑名工場

環境マネジメント

第六次取り組みプラン（2021年度～2025年度）

環境への取り組みを全社的に体系化し
着実に反映する為、2021年度から
第六次環境取り組みプランへ更新し、
活動を進めていきます。



～ CO₂削減チャレンジ2030 ～ を宣言しました

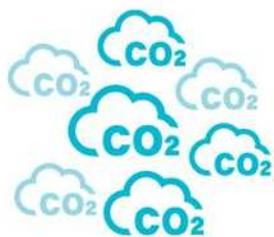


豊臣機工

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



CO₂削減チャレンジ2030



2019年

活動の3本柱

日常改善 設備導入 再エネ活用

全員参加で未来へチャレンジ！

40%削減 (19年比)



2030年

豊臣機工は2030年CO₂▲40%にチャレンジします(19年比)

2019年 20年 21年 22年 23年 24年 25年 26年 27年 28年 29年 2030年



環境データ報告

第六次 環境取り組みプラン（2023年度実績）

①CN推進会議



エネルギーを効率的に使用し、電力・燃料の低減を行い、地球温暖化の防止に寄与する。

【主な取り組み】

- ・エアリークビューワーの導入
- ・太陽光発電の導入・拡大
(額田 プレス工場 792kW : 2024年 4月1日 稼働開始)
- ・工場・事務所 照明のLED化
- ・本館：省エネタイプの空調機器へ更新
- ・CO2削減 中期目標（2030年）達成に向けた活動

【CO2 排出量】

2030年までにCO2総排出量を、パリ協定に適合する目標値として2019年比40%削減に設定した。

年次目標は中期目標マイルストーンに準じる。

削減のため、活動の下記3本柱を推進していく。

<①日常改善>

- ・運用改善などの省エネ活動導入

<②省エネ/再エネ設備導入>

- ・省エネ機器への設備更新
- ・太陽光パネル等の再エネ設備導入

<③再生可能エネルギー活用>

- ・CO2排出フリー電力・LNGなどの導入



【エネルギー消費原単位】

「エネルギー使用の合理化等に関する法律（省エネ法）」に基づくエネルギー使用状況届出と、同目標のエネルギー消費原単位（kL/百万円）前年比1%以上の低減活動は継続し、評価する。

<2023年度実績>

エネルギー消費量は原油換算にて約8.0%減であった。額田工場に導入した太陽光発電システムが効果に大きく寄与した。エネルギー原単位については更に効果が大きく約18%減となった。



エアリークビューワー



額田 太陽光発電



2023年度 CO2排出量 (Scope3) (ton)

カテゴリ	内容	排出量 (ton)
カテゴリ1	購入した製品・サービス	269,039
カテゴリ2	資本財	16,508
カテゴリ3	エネルギー関連活動	2,968
カテゴリ4	輸送、配送(上流)	3,646
カテゴリ5	事業から出る廃棄物	528
カテゴリ6	出張	237
カテゴリ7	雇用者の通勤	2,548
カテゴリ8	リース資産(上流)	対象外
カテゴリ9	輸送、配送(下流)	対象外
カテゴリ10	販売した製品の加工	対象外
カテゴリ11	販売した製品の使用	対象外
カテゴリ12	販売した製品の廃棄	601
カテゴリ13	リース(下流)	対象外
カテゴリ14	フランチャイズ	対象外
カテゴリ15	投資	399
総計		296,475



環境データ報告

第六次 環境取り組みプラン（2023年度実績）

② 廃棄物低減委員会



ゼロエミッションを目標とする。
紙類・プラスチック類を中心に再資源化を進め、
廃棄物量を低減し、環境保護に寄与する。



【主な取り組み】

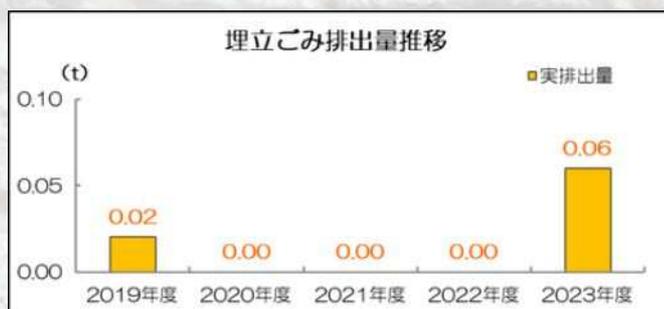
- ・ 塗装スラッジ（埋立ゴミ）をセメント材料としてリサイクル化
- ・ 硬質プラスチックの高温焼却
- ・ 陶磁器・ガラス類の粉碎および選別によるリサイクル化
- ・ 廃棄物の分別徹底による償却ゴミの低減
- ・ 持ち込みゴミの持ち帰り運動。

【埋め立てごみ】

- ・ 2021年～<第6次 環境取り組みプラン>

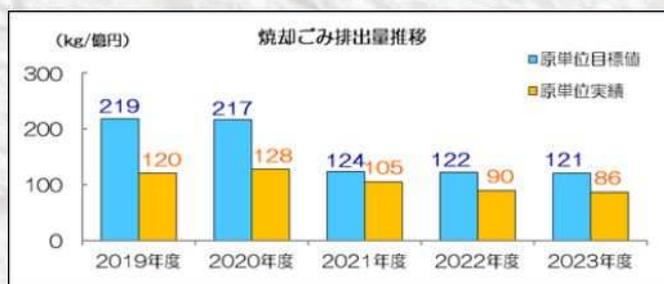
目標：ゼロエミッション

2023年度実績 0.06トンを排出。再度ゼロエミッション
達成のため、廃棄物低減委員会で対策を検討・実施。



【焼却ごみ】

- ・ 環境目的 2017～2019年度までの平均実績比 5%以上低減
- ・ 2023年度目標 121.1kg/億円 以下
- ・ 2023年度実績 86.0kg/億円 で目標達成



③ 補給金型再資源活用（プロジェクトチーム活動）



2005年以降、「補給金型再資源活用」は生産管理部の定常活動として継続しています。

【主な取り組み】

旧型補給の一括生産を提案し、旧型金型を新規の金型の再製作に供する。

<2019～2023年度 実績>

年度	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
金型再利用実績 (t)	6,601	7,913	4,078	6,886	5,858

環境データ報告

第六次 環境取り組みプラン（2023年度 実績）

④ 公害防止委員会



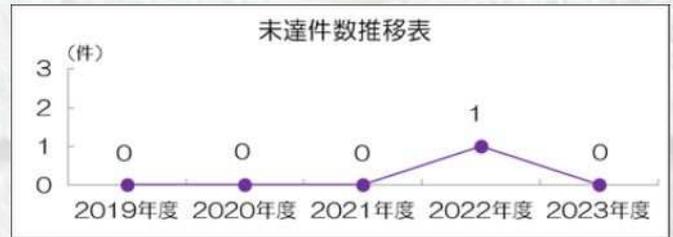
大気・水質・臭気・騒音・振動の定期測定と自主基準値管理による異常の未然防止。

【主な取り組み】

- ・ 確実な定期測定と異常時の対応
- ※ 環境データはP. 9～10に記載

<環境目的・目標>

法規制値・自主基準値の未達件数 0件



【化学物質管理の充実】

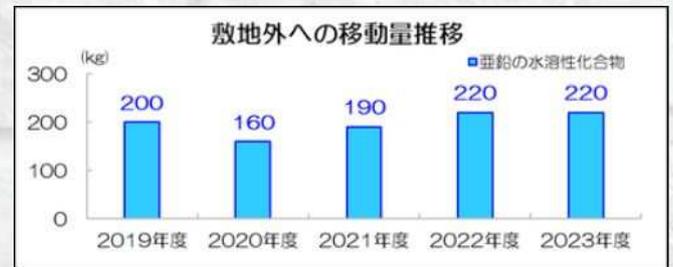
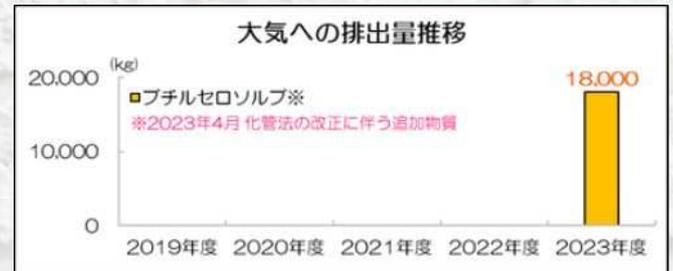
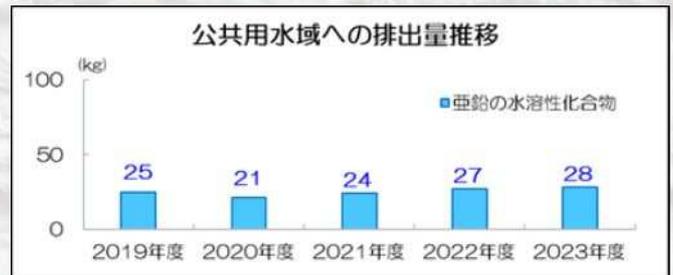
『化学物質等管理規程』『環境保全指定施設管理規程』を策定し、毒物劇物の管理から下記報告に至るまで、規程通り維持されている事を確認する。

- 1) PRTR制度に基づく排出量・移動量の報告
- 2) 県民の生活環境の保全等に関する条例に基づく取扱量の報告

- 1) PRTR制度 第一種指定化学物質排出量及び移動量の届出
2023年4月の化管法改正により対象物質が515種に拡大し、新たに大気への排出として『ブチルセロソルブ』が計上された。移動量は例年通り『亜鉛の水溶性化合物』のみ。

- 2) 県条例 特定化学物質取扱量の届出

化管法改正に伴い対象物質が515種に拡大。2023年度の社内届出対象物質は『亜鉛の水溶性化合物』と新たに対象となった『ブチルセロソルブ』の2物質となった。



環境データ報告

本社工場

水質

対象施設：排水処理施設・酸又はアルカリによる表面処理施設 3基・し尿浄化槽
安城市公害防止上協定に基づく下記5項目の測定と報告の実施。 1回/月。

項目	法規制	県条例	安城市協定	自主基準値	実績		
					最小値	最大値	評価
pH (水素イオン濃度)	5.8~8.6	-	6.0~8.5	6.2~8.2	6.9	7.3	○
BOD (生物化学的酸素要求量)	160 mg/L以下	25	20	16	1.3	10.0	○
SS (浮遊物質)	200 mg/L以下	30	20	16	<0.5	6.0	○
n-ヘキサン (油分)	5 mg/L以下	-	4.0	3.2	0.0	2.6	○
大腸菌群数	3000 個/cm ³ 以下	-	1,000	800	30 未満	30 未満	○

更に下記15項目について、毎年10月に測定を実施し安城市へ報告。協定値範囲内を継続中。
フェノール・銅・亜鉛・溶解性鉄・溶解性マンガン・クロム・フッ素・カドミウム・シアン・有機リン・鉛・六価クロム・砒素・総水銀・アルキル水銀

大気

対象施設：貫流ボイラー 6基
安城市公害防止上協定に基づく測定と報告の実施。毎年9月・翌年3月の2回/年。

項目	法規制	県条例	安城市協定	自主基準値	施設	測定値	評価
ばいじん	0.10 g/m ³ N 以下	0.30 g/m ³ N 以下	0.20 g/m ³ N 以下	0.16 g/m ³ N 以下	1号機	0.001 未満	○
					2号機	0.001 未満	○
					3号機	0.001 未満	○
					4号機	0.001 未満	○
					5号機	0.001 未満	○
					6号機	0.001 未満	○

測定：2024年3月

臭気

対象施設：塗装乾燥炉
安城市公害防止上協定に基づく測定と報告の実施。毎年10月・翌年3月の2回/年。

項目	法規制	県条例	安城市協定	自主基準値	実績	
					測定値	評価
臭気指数 敷地境界 風上	15 以下	15 以下	15 以下	12 以下	10 未満	○
臭気指数 敷地境界 風下	15 以下	15 以下	15 以下	12 以下	10 未満	○

測定：2024年3月

環境データ報告

額田工場

水質

対象施設：し尿浄化槽

岡崎市公害防止上協定に基づく下記6項目を毎月測定。更に毎年6月に岡崎市への報告の実施。

項目 測定：2024年4月	法規制	県条例	岡崎市協定	自主基準値	実績	
					測定値	評価
pH（水素イオン濃度）	水質に関する 特定施設がないため 法規制・県の条例に 該当なし		5.8~8.6	6.2~8.2	6.9	○
BOD（生物化学的酸素要量）			20 mg/L以下	16 mg/L以下	2.2	○
COD（化学的酸素要求量）			20 kg/日以下	16 kg/日以下	7.8	○
SS（浮遊物質質量）			20 mg/L以下	16 mg/L以下	4.0	○
n-ヘキサン（油分）			2.0 mg/L以下	1.6 mg/L以下	0.5未滿	○
大腸菌群数			300 個/cm3以下	240 個/cm3以下	30未滿	○

桑名工場

水質

対象施設：し尿浄化槽

桑名市公害防止上協定に基づく下記7項目を毎年10月・翌年4月の2回/年測定。

更に毎年4月に桑名市へ報告の実施。

項目 測定：2024年4月	法規制	県条例	桑名市協定	自主基準値	実績	
					測定値	評価
pH（水素イオン濃度）	水質に関する 特定施設がないため 法規制・県の条例に 該当なし		5.8~8.6	6.2~8.2	7.4	○
BOD（生物化学的酸素要量）			15 mg/L以下	12 mg/L以下	4.5	○
COD（化学的酸素要求量）			25 kg/日以下	20 kg/日以下	16.0	○
SS（浮遊物質質量）			30 mg/L以下	24 mg/L以下	4.0	○
T-P（りん汚濁負荷量）			8.0 mg/L以下	6.4 mg/L以下	4.3	○
T-N（窒素汚濁負荷量）			60 mg/L以下	54 mg/L以下	13.0	○
大腸菌群数			3000 個/cm3以下	2400 個/cm3以下	30未滿	○



額田工場・桑名工場には、大気・臭気の項目に該当する設備がないため省略。
対象設備設置時に測定を実施。

環境活動



食堂の窓辺



工場の窓辺



太陽光発電システム



整備された緑の歩道

緑地面積を増やすために一部区画を緑の歩道に整備。
窓辺のグリーンカーテンは毎年植え替えて夏の暑さを和らげます。

環境活動

新入社員研修



環境教育訓練



緊急事態が発生する可能性のある14施設を特定し、年間計画に織り込んで緊急事態対応訓練を実施。

地域美化活動

【地域清掃活動】

本社工場周辺エリア
(道路から近隣公園まで拡張) →

額田工場周辺エリア
(岡崎市の清掃活動にも参加) ↘



【発行】



豊臣機工株式会社

SDGs推進室

作成日：2024年9月2日